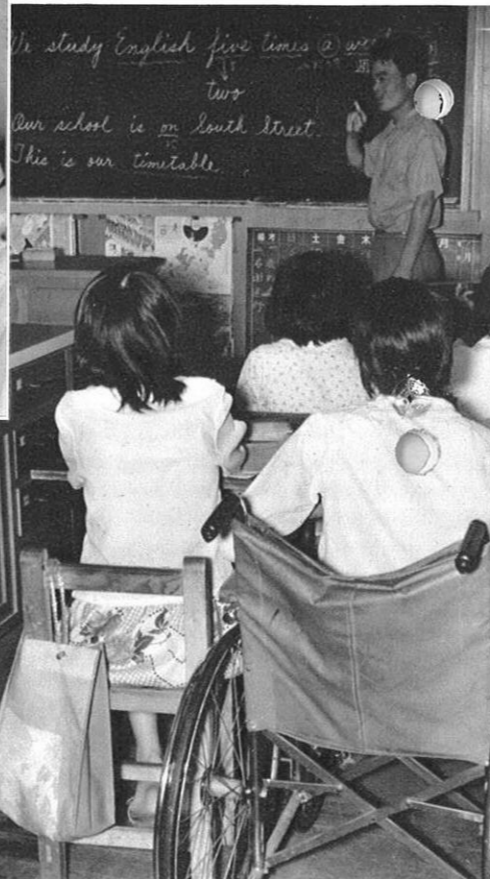


治療と訓練と勉強と……



両手の不自由な子供には、看護婦さんがつきそって……

「さあ、自分でふいてごらん」…けんめいに努力する子供と看護婦さん



手押車にのったまま英語の勉強 (中学の分校)

1日の勉強がすんで、自分のベッドへ「タダイマ」



僕は、小児マヒで不自由になった足の治療のため、松橋療護園にはいつている小学六年生だ。

こには、九州一と自慢するだけあって、治療の施設のほかに、小学校と中学校の分校もあり、いま100人以上の友達が勉強している。

通園バス「こぼと号」で、熊本方面から通っている友達もいる。

お兄さんやお姉さんたちのなかには、何人も高校へ進学しているし、なかには大学へ行った人もある。

僕も負けないように、しっかり治療と勉強にはげんで、大学へ進む覚悟だ。

〈S君のノートから〉

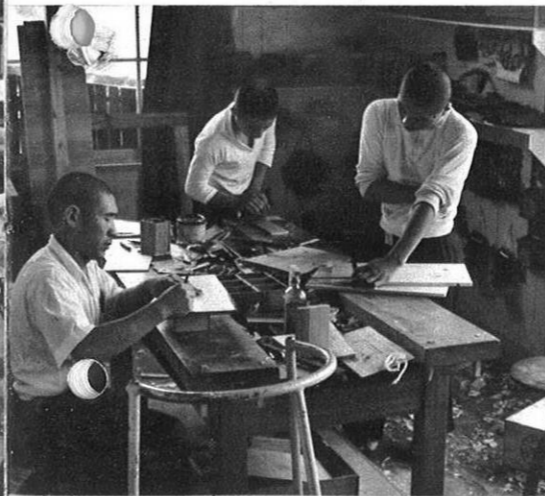
毎朝「こぼと号」がお迎えに



図工の時間はみんなだい好きだ。(小学一年の教室で)



不自由な左手を添えて、切紙細工もしんぼう強く



実習室で本立てをつくる上級生たち

